(一)　號三十二百　(日曜火)　日一月二十年一十四治明

京城新聞

寄書

在韓日人たる韓國官吏に望む

天山生

在韓日人にして苟も事をなさんと欲する者は何種の事業たるを問はず第一に必要欠くべからざるものは韓語なりとす殊に諸官衙に在職する日人たる韓國官吏を繞りとす今日彼等の中に韓語に通ずる者は暁天の星の如く僅少なり彼等の多くは常に通譯の口を通ふして執務しつゝあれば其不便不自由なること察するに餘りあり且つ之がために往々にして意志の圓滿を欠ぎ誤解を招致し政務の進渉上多大なる障害を來たすことあり今左に言語の不通する害を列擧すれば

第一　意志の疏通を欠ぎ思はざる誤解疑心を

第二　通譯の口に依りて事をなす時は例へば音聲を强めて人民を說諭し又譴責する場合にありても若し通譯にして之をなさゞらんか其功果極めて薄し

第三　地方事務に關渉しつゝある官吏は大體に於て其地方に現存する習慣風俗等を知得するの機會ありと雖ども言語に通ずるにあらざれば到底其細密の點に至る迄で知ることを能はざるなり殊に人情の點に於て然りとす之を以て機に臨み變に應ずるの術を知らず屢々好機會を失ふの憾みあり

第四　若し日人たる韓國官吏にして悉く言語に通曉したらんには現今の如く通譯を要するにあらざれば執務し能はざる等の不便不自由を除き事務の進渉上偉大なる功果を奏せん乎

第五　現今日人たる韓國官吏が地方に出張するには必ず通譯を伴ひつゝあり之がために自己以外に通譯に對する餘分の旅費を要しつゝあり實に不經濟ならずや若し自己が韓語を語り得んには此等餘分の費用を省き以て他の有益なる事業に用ひたらんには韓國の發展上多大なる利益を與ふることを得ん

第六　言語の不通よりして親しき韓人に出會ふとも言語を交ふること能はず手持ち無渉汰に過ぎざる可からざるの憾あり

以上は單に余が心附きたる言語の不通上より起り來る障害の一例を示したるのみにし尚ほ此外に數へ來れば多く發見するに至らん之を要するに今後の韓國に奉職する日人は韓語に通曉せざる可からず斯く云へは韓人をして日語を學ばしめよと呼ぶ者あらんも之れ大なる誤なり如何んとなれば治者たる官吏は少數にして被治者たる韓國人民は多數なれば如何に此の多數なる被治者に强ふるに日語の必要を以てするも木に緣つて魚を求むるが如くにして到底功果を得ること能はず先づ少數なる日人官吏よりして互に言語を研究する方策かに得策有効なり今後の韓國官吏採用に付ては語學の能不能を以て必要欠くべからざるの資格となさざる可からざるなり

●海運界不況の近因

海運界不況の近因として當業者のいふところを聞くに(一)精糖業不振のため原糖の輸入は從來の半額に達せざるより此等貨物の吸收に從事せる船舶の全く不用に歸したると(二)北海道木材の北清および滿州方面に對する輸出も清國兩宮の崩御に依りて前途を氣遣はしめ且つ擱燐に於る經營も事業緣延のため思はしき商談の成立を見ずして本年海關税率と從來の如き活況を望み難き有樣なると(三)韓國本年の豐作は昨年來の暴徒事件の埋台をなし得べく前途に望を囑せしも暴徒の爲め韓國民の購買力増加せざる事(四)從來是等の輸送に從事せるものは全く船腹を充實せしめ難き狀態にあると(五)鐵道運輸にて增收を圖るため從來手を着けざりし貨物の吸收に力めし結果船積ものゝ漸車便に移りて社外船主の受る打擊鮮少ならざると等にして歲末の發展は望み難きのみならず來春に入りても前記の事情に變化を來さゞる限りは到底回復の望みなかるべしといふ

俳句

●病中吟

飛天子

醫の俥止まる小家の冬木かな

藥涙呑んで喰る霜夜かな

病む夢に水仙の精と語りけり

頭眠の苦辛らくして夜半の冬

俳想の模樣飽きたる蒲團哉

嘛汁や寢汗に夜毎寢ぬ病

冬日さす靜さの病間小窻かな

文苑

●紅煙紫香

むら

今日は十一月の廿九日なり。日曜にして先考の忌日に相當す。葷酒を絕ち、水を手向け、香を點して、俤を楣間の畫像に偲ぶ。洋々たる慈顏、今尚は在ますが如し。亡き人の俤寒き書齋かな

直ちに之れに和唱す。即ち曰く、

香　香摘子より狀着す。近什數句を錄す。

む　袴着や曾我の里にて養はれ

香　袴着せて刀差せぬ怨みかな

む　鹿の戀野に鼻を搔るゝな

香　鹿の戀獵夫が笛に欺さるな

む　岩氷と忠重と語る火鉢かな

む　牛君を懷に圍の火桶かな

香　憂き觸や火なき火鉢を中にして

む　來ぬ人に灰のみ殖る火桶哉

　　憂き人の憂き戀語る火鉢哉

而して其近狀としては、

香　●夕々落葉燃やすや田舍振り

　　と、

む　老ひたりな我れも人も、老たりな蟲冷たき足のうら

　　霜の夜や厠に通ふ抑も幾度



(七十一)

河合柳塘

娘菊野は今年二十一で、頗る付きの美人で、道恭夫婦が此樣にして此子ありで、嚴正な家庭で育て上げたほどなつて柔順やかなそして行儀正しい、しかも怜悧の性質であるから、終に御室家の令孃露子のお相手として、父と共に御室家に仕る事とはなつたのであるしかし露子姬よりは年齡も二

[illegible]

べて見れば、お暇を頂く位は何でも無い事だ、お家の御安危に拘る一大事と云ふ場合には、生命を差出してもお助け申さねば、御恩報しの致方がない。」

「しかし今日は奈何云ふ事からお暇が出たのでございます。」

「それは外でもない、此度御前樣が京都から連れ歸りになつた、お前も見たであらうけれども若い女の事だ聞けば御前樣のお妾にお連遊ばしたと云ふ事だから、まだお姬樣さへお迎へなさらない以前に、お妾なんぞを表向屋敷へお連歸り遊ばすやうでは、お姬樣をお迎へなさる妨げにもなるお屋敷の中も自然と亂れて來る道理だから、斷然お暇をお遣し遊ばすやうにと、事此を御諫言申上げたのだ。」

遅れになつた彼の女、其女は後室樣と大山豐春との三人の樣子を悟られぬやうに氣を注けて下れ。」

「其事ならば、必ず御心配なさいますな私にもお暇が出れば知らないこと、さもなければ何彼に心を配つて、爲に一つも怪しいとや、お家の大事にかゝる事を見付けましたら、必度お知らせ申します。」

猶左や右と、種々の注意を言含めた後、菊野は匆々御室家へ歸へした。

「其事だて、それをお前に言聞かさうと思つて、お幾に營傳を爲て歸つたのだと云ふは道度お延になつた女とてどんな素性でどんな精神の女だか、御前樣の目にこそ良く見えて居るだらうけれども、まだ來たばかりで知れたものぢやなし、古から例のお事だが、得てしてあゝ云ふ女からお家に種々の騷動などが起きるもんだし、それにまだ外にも少し心懸の事もあるんだから、私はお暇を出された身の上で致方がないけれどお前は此後とてもお屋敷に居て、私のかはりに何彼に心を付けて、若もお家の大事にかゝるやうな事でも目に付いたり耳に入つたなら、素知らぬ顏で知らして下れ、それに就いても先づ第一に心を配るのは、お

したが、私は如何致したものでございませう。」

るゆゑ、令孃の復習などを助けるため、御室家に一室を與へられて、夜も宅へは歸らず屋敷に寢泊するのである。今しも我家に歸つて來た娘菊野を見るより早く道恭は。

「おゝ菊野か定めて吃驚したであらうな。」

菊野は、打沈むだ顏色で、胸に動悸を打たせつゝ、兩親の側近く坐つて、

「一体まあ、奈何なすつたんです、お幾から些とは聞きましたけれど、あんまり吃驚したもんですから、詳しい容子は聞かないで歸つて參りました、どうぞ話してお聞せなすつて下さいまし。」

と、氣遣はしさうな容子である。

「なにさ必ず心配するには及ばない、お暇を出される位は覺悟の上で御諫言申上げたんだ、大殿樣以來今日まで蒙つた御恩に比

●漢城便り

●京城商業學校は財主大倉喜八郎氏の來韓を機會とし去る廿八日盛大なる開校式を舉行致候當日臨場の韓紳其數五百有餘、人をして一齋に商業學校の開校式と思ふを許さゞる程に歷々の顔觸にて有之候

●式辭演說は例に因て大に振ひ申候まづ第一番が同校理事市原博士の[illegible]の辭にして其要は「大[illegible]巨資を投じて本校を起されたる[illegible]に對する善隣の誼を盡しおるものに[illegible]機が韓國を冠稱するも實は右の[illegible]に限る」と[illegible]

●次は[illegible]して[illegible]たる僕孫氏の[illegible]に有之候、氏は[illegible]の由來を述べた後勸奬一番して曰く「今や韓人間に私立學校續々として設立せらる、而かも[illegible]の勇氣ある斷定は内々私立學校に關係せる多くの韓紳を驚かしたる樣相見受け申候、一韓紳曰く學[illegible]近[illegible]私立學校の撲滅を計るならんかと[illegible]の浮說を生み出し可申候

●次に大倉財主は例の万年[illegible]的容貌を以て徐ろに演壇に[illegible]と善隣學校との關係を演述相成候、曰く「伊藤公は統監として韓國に善政を布かんが爲に大骨折あり、不肖余の如きも[illegible]か統監政治の爲れ手傳を爲さゞるべからず、余が韓國商業教育の爲に[illegible]相資したる所以なり」と簡にして明常識の發達せる人の言ふ事は遉かに垢拔け致居候

●次が伊藤統監にて此偉人は必ずや例に因つて平和人道を說くなるべしと豫期したる[illegible]に其唇頭より洩れ出る言々も[illegible]豫期と一致致候、曰く「商業の目的は平和に俟ち平和は商業に依つて鞏固せらる」と記者は公の說くところを[illegible]と相聽き申候、只恐る平和時代の商業にては何人も大倉翁の如く巨利を博する者なく從つて善隣商業學校も建ざることゝ相成べきを。

●李完用は遉がに眼先が見え候、彼は群立せる衆客が一時三十分餘の耐寒に同情を表し祝文を代讀せしめて壇を退き申候。

●李學部大臣金中樞院議長等が李總理の例に習ひたるは來客の感謝せしところに有之候、沈默は黃金なりとの古諺は當日切實に感ぜられ申候。

●式後傍人の曰く人生富豪大倉となるべきか將統監伊藤となるべきかと他の傍人答て曰く寧ろ富豪大倉となりて二十萬金を投じ商業學校を建てゝ此寒天に統監を引張り出すに若かずと、思ふに人心は益す政權より金權に赴き可申候。

桑港電報

▲日米協約の締結

華盛頓よりの信ずべき報によれば日米兩國は太平洋政策に就き新に協約を締結せり其の内容は兩國の領土を承認して相互干涉を受けず清國の門戶開放清帝國の保全等を確認し日米兩國共に決して侵略的政策を有せずと云ふに在り（廿九日東京經由）

東京電報

▲二法令の公布

政府に納むべき保證金其の他擔保に充用する國債の價格は其の償分金額に依るの件及び監獄官吏に劍銃を携帶せしむるの件裁可公布さる

▲奥羽の暴風雨

一昨朝來奥羽地方は暴風雨ありて鐵道其の他被害多し

▲三重丸損害事件

三重丸の損害に付會社の要求額は政府に於て認可せられず政府は別に調査の上[illegible]

▲日米協約發表期

日米協約は十二月中に發表の筈なりしも來年四月頃に發表することに延期せられたりと（廿九日發）

▲治外法權撤去交涉

韓國に於ける治外法權撤去は我政府の宿望にして客年來韓國の諸法律の編纂中なりしが完結を告げ不日各國に交涉を開始するの筈なり（三十日發）

雜報

●韓太子の近狀

韓國皇太子には去る二十六日東京出發の同國軍部大臣李秉武氏に御親書を御交附あらせられ本國皇帝太皇帝兩陛下嚴妃殿下の御近況を伺はせられたりとの事也

●大倉氏の叙勳

大倉喜八郎氏は廿九日付を以て韓國皇帝より勳一等八卦章を下賜されたり

●拓殖の創立總會

東洋拓殖會社設立委員は韓國より株式申込書保證書類の到着を俟ち去る二十八日に既記の方法にて株式の割當を爲し直ちに其の筋の手續を了して遲くとも十二月三四日迄に拂込の通知を發し本年中に創立總會を開く豫定なりと云ふ

●漁業法に關する告示

農商工部にては漁業に關する出願手續及び各種の書式を制定し不日官報にて告示する筈なりと

●漁業法施行期日

今回發布せられたる漁業法施行期日は別に勅令を以て發布せらるゝ事となれるが當局に於ては明年四月一日より實施する事と內定し居れりと云ふ

●水產調査の進捗

本年二月以來農商工部にて着手したる全國水產調査は此程第一項の調査を終へたるを以て其の調査報告書の第一編は十二月中に印刷に付し各方面に配布する筈なりと

●漁業規則の發布

漁業法の發布に伴ひ水產規則の改正あるべき事は既報の如くなるが愈々漁業規則として發布せらるゝ由にて目下[illegible]部間にて協議中なれば十二月中には法律を以て發布せらるべしと云ふ

●農產技術員會議

農商工部にては十二月七日より三日間各地方在勤の農產業[illegible]を本部に召集し農產に關する諸般の注意を與ふる由

●水產協議會

農商工部水產局に於ては十二月十五日より向ふ一週間沿海の[illegible]に在勤の水產技術員を招集し各道水產調査の成績を報告せしめ兼て漁業法實施上に就き協議會を開く趣にて[illegible]協議會に於ける[illegible]及び水產規則に關する指示事項は左の如し

協議會提出問題

一、各道水產業の開發擴張に就き官民間に於て現在將來に施設を要する事項及び其の施行方法

二、漁業法に依り水產動植物の繁殖保護のため禁止年限を要すべしと認むる事項及び其の施行方法

三、定置漁業其の他の免許漁業中其の權利保護のため漁場又は漁具漁法に對し第三者の漁業行爲を制限すべき必要ありと認むる事項及び其の種類方法

四、一般水產業者保護取締上要すべき事項

五、日韓漁業者共同の利益を圖り其の親和を計る方法

一、水產法規制定の趣旨及び其の取扱心得に關する件

二、漁業法第二條第八條第十條に關する漁業種別に關する指示事項

三、水產業者の[illegible]に依るべき事項及び其の取扱心得に關する件

●阿片會議の延期

萬國阿片會議は明年一月清國に開催の筈なりしが、通牒米國より一ヶ月程延期したしとて我の贊同を求め來りしにより、外務省は二十四日內務當局と協議の末延期同意の旨回答せりと云ふ

●吉長鐵道續約

去る十二日調印了し清國政府の承諾を經たる吉長鐵道續約は近日の官報を以て發表さるべしと云ふ

●滿鐵改革案

後藤遞信大臣の談に曰く所謂滿鐵の改革に付ては過日中村副總裁種々協議を携へて上京し種々協議の結果改革案を定め更に之を滿鐵會社の重役總會にかけて愈々確定するの運びとなれり副總裁は已に大連に歸りて之が協議中なるが改革の要點は從來の部制度を全廢して恰も余が曾て臺灣民政部にありし其下に十三課を設けて總理したるが如く建設、港灣、鑛業、電氣、地方、旅館、運輸、營業、調査、其他[illegible]を組織して重要なる事項は此會議に於て決定する事となるも其[illegible]結果は何等事業上に[illegible]あらざるも上下通じて[illegible]する豫定なる[illegible]に止まるやも知れず[illegible]經費節減さるべし但し此等[illegible]つゝある重役協議の決定を見るべき案と云ふの外なし

●起業公債に就て

本日の官報を以て起業公債條令の發布ありたるが右の公債百萬圓は日本大藏省と交涉の結果預金部に於て運用せる郵便貯金の內より[illegible]ものにして其の[illegible]券を引受け[illegible]地方金融組合五十箇所の資金に充當せらるべく[illegible]年後新設さるべき[illegible]資金に充當せらる[illegible]上債券は一般よりを政府が引受く[illegible]案は或は剩餘を[illegible]途は未だ確定し[illegible]より借入るゝ百[illegible]於て取扱ひたる[illegible]よりする事となり郵便貯金は韓國[illegible]方針より出たる

●大韓山林協會と大倉氏

李夏榮及び松下牧男兩氏の主唱によりて成立せる大韓山林協會は今回來韓の大倉喜八郎氏を同會名譽會員に推薦し其の承諾を受けたる由にて去廿七日午後二時右の兩氏主人側となり李氏邸に大倉氏を主賓とし李首相、閔宮相、閔中樞院顧問、第一銀行總裁其の他數氏を招き[illegible]晩餐を催したるが大倉氏は席上左の[illegible]を[illegible]るれり韓國料理[illegible]神仙爐[illegible]によせなべ

●財務法規類纂の發行に就て

度支部官房に於て編纂中の現行財務法規類纂は本年九月一日現在の韓國財務に關聯せる一般の法規を網羅したる美麗大冊の者にして紙數千四百頁の上に達せり尚今後改廢の法規も併せて[illegible]級を發行せらるゝ[illegible]に對し[illegible]隨時追加[illegible]を發行せらるゝ趣なれば常に現行法規を座右に缺く可からざる[illegible]して別項廣告にもある如く本書は一冊の代價金二圓五拾錢を以て龍山印刷局に於て發賣し且つ希望者の便利を圖り京城本町日韓書房及び鍾路[illegible]の韓人書林中央館をして販賣を取次がしむる由なれば希望者は速に購求を申込むべし

●白米小賣値下げ運動

目下見る白米一升の小賣値段十七錢は曾て玄米一石十一圓代、糲一石四圓八九十錢より五圓までの時代に引上げられたるものなり今は是等の相場下落して玄米一石九圓二三十錢を呼ばるにも拘らず其小賣相場は依然として下落せざれば時情に精しき仁川市民は其暴利に驚き一部人士の如きは極力之れが値下げを斷行せしむ可く既に運動に着手せる者さへありと云ふ

●仁江間郵便交通

仁川郵便局よりの江華島への郵便物の交通は往復合せて月二十回韓人採行丈の所有船に依て行はれつゝあるが郵便往四百通、復二百通程の郵便物あるを常とし暴徒猖獗を極めたる際に於ても其數を減らさりし由

●豆滿江の石炭鑛

韓國の石炭鑛は現に經營中のもの平安南道平壤附近にては林氏慶尙北道長鬐に於ては閔氏咸鏡北道羅南に於ては櫻井氏等其主なる者なるが近頃豆滿江の方面を調査したる某技師の話を聞くに該方面には炭脈の散在せるもの頗る豐富なる內に慶源及慶興兩郡の間に於て大炭田を發見したる由にて炭層五尺に及び炭質は中等にして不日大規模の採掘に從事する筈なりと云ふ

●朝鮮米の初輸出

兵庫武貞商店と二三外國商館との間に締約されたる米國行朝鮮米三十噸は最近神戶入港の安東丸にて全部到着したるに依り近日便船にて米國に輸出さるゝ筈なるが[illegible]初輸出なりと云ふ

●鐵道貨物の保險

仁川韓國倉庫支店取扱ひに掛る帝國海上保險會社にては曩に韓國に於いては未だ何等の保險會社も鐵道貨物に對する保險を附し居らざるを以て右開業すべく去月本社に向け種々交涉なしたるは既記の如くなるが此程仁川取扱店に達したる回答に由れば其の保險率を本邦に於ける保險率と略同樣となし其の申込みに應ずべしとありたるを以て同取扱店にては既に開業し居れるが韓國に於ける鐵道貨物は其の輸送距離極めて短かきと損傷の場合には運送店之れを辨償するを以て保險申込者は未だ一もあらざる由なるが今後軍隊輸送貨物の保險申込は陸續としてあるべしと云ふ

●鴨綠江渡航危險

十一月十二日夜來の寒氣激增したる爲め鴨綠江兩岸に結氷せり次で十三十四日には流れの緩なる所は既に全河幅氷結し其急流なる所は未だ全部氷結せざるも流氷夥しく船舶の航行甚だ危險なり交通杜絕せり尚土民の談によれば本年の結氷は昨年に比し約一週間早しと云ふ

●穀物協會檢查實施期

仁川穀物協會にては豫報の如く本日より穀物檢查を實施する筈なりしも諸般の準備整頓せざるを以て本日よりは其の實施を見る能はざるが遲くも來月十日までには諸般の設備完全し檢查實施の運に至るべしと云ふ

●仁川民團稅の收入

仁川民團役所より明治四十一年度後期民團稅に付て徵稅命令を發せる總稅額二萬三千圓に對し納期即ち去月二十五日までに納入ありし金額は約五千圓にて其後尚は續々納入者ありと云ふ

●漢城衛生會評議員會

漢城衛生會は昨卅日午後十時より內部大臣室に第六回評議員會を開催し同會長以下各評議員出席し會務の評議をなせり

●大仁間の臨時航海船

大阪商船會社の仁川大阪間の航路は[illegible]として每週二回航行し去月よりは準定期船として濟州丸、福州丸等を以て絕えず航行し居たるが今回同社の天津航路は過日終航を告げ航路船大和丸、大智丸の二隻は同航路復興するまで不用となりたるを以て其の間仁川大阪間の臨時船として航行せしむることゝ決定したりと云ふ

●難破船漂着

十一月二十日午前九時黃海道豐川郡席島に難破船一艘死体一を載せ漂着せるを以て同島面長は在駐憲兵に報告し直に取調ぶる處によれば右は山口縣都濃郡富野村大崎三代吉の所有船飛丸の端舟にして十一月十四日席島龍山洞より薪材を滿載し鎭南浦に向ふ航行途中烈風に遭ひ難破したるものなりと云ふ

●討伐隊歸還

江華島に暴徒討伐の爲め出張中なりし第十三聯隊所屬土肥步兵中尉の引率せる下士以下〇〇〇名及び他將校〇名は一昨日午後十時三十分仁川に上陸直に龍山に歸還したり

●電報通信社の觀劇招宴

東京の日本電報通信社は來る十二月三日合併海外電報開始代理部創設紀念の爲め麴町區數寄屋橋高等演藝館に於て觀劇を兼ねて宴を催すと云ふ

●李軍相の歸城

曩に大演習陪觀の爲め渡日せられたる軍部大臣李秉武氏一行は廿九日釜山着太田に一泊し三十日午後二時十四分南大門着事歸任せられたり

●平渡書記官の歸任

出張中なりし平渡內部書記官は馬山浦統營三千浦、豆州、泗川、東萊各地の視察を終へ一昨廿八日夜歸任したるが右各地に到る沿道は極めて平穩にして旅行には何等の危險なく地方官は何れも銳意地方行政の改善に努めつゝありと云ふ

●太田憲兵大尉の着任

鐵道分遣所長たりし憲兵大尉太田濱松氏は今回本部附を命ぜられ二十九日着任せり

●大倉氏出發

滯京中なりし大倉喜八郎氏は三十日[illegible]下仁せる[illegible]仁川よ[illegible]り[illegible]

●[illegible]川憲兵少佐出張

[illegible]川憲兵少佐は開城海州地方視察のため本日出發せり

●外國船の入港

近々中に仁川に入港する外國船の船名を聞くにマーニン號及びエーナン號は上海よりマートツホ號は門司より入港する筈なりと

●御用船入港

陸軍御用船樺太丸は一昨日午後仁川に入港し昨日午後門司に向け出帆したる筈

●金村驛の開始

既報の如く京義線金村驛は愈々來る十六日より營業を開始す

公人私人

▲北原勉道（[illegible]） 廿九日[illegible]

▲[illegible]文雄（[illegible]長） 廿九日[illegible]

▲佐藤直衛（農商工部主事） 廿九日歸任

▲渡邊節（度支部建築技師） 廿九日入城山本旅館

●近事片片

▲後藤 遞相電話度數制を唱へて一世の反抗を買ふ大概の者ならば先づ案を撤回せん

▲流石 は後藤爵也終に押出せり

閣員皆內閣の不人望を恐れて之に躊躇す

▲後藤 の如き血性男兒一端案を立てゝものを撤回するは全く忍びざる者あらん

▲男に は此執拗なからんと思ひしに此点は矢張東北氣質あり併し敗るゝ男の面目

▲原敬 氏が郡制廢止案に對する行爲も恰もこれに似たり唯原と後藤は閣中の勢力違ふ

▲原氏 は內閣の重鎭たりしも後藤は新參にて重鎭たるに至らず併し兩者共前途多望

▲度數 制に於ては味噌を付けたる氣味あるも之を以て後藤の人物を評定するは非也

▲原氏 にも未來ある如く後藤にも大なる未來あるべし之を以て兩者の前途夫れ如何

▲後藤 男の內閣椅子持續すべきか恐らくは世間の云ふ程閣中には不評判ならざらん

▲稻垣 万次郎氏終に逝く噫人生朝露の如し今更ながら其諸行無常を歎ぜざるを得ず

▲氏が 東方策士として其所說總著し各所に演說したる昔を思へば轉た悲然たるなり

▲暹羅 公使として永く駐在し日暹の關係に盡したるの勞は顯著ならざるも効力多し

▲人は 運不運あり若し稻垣氏にして最初他の公使たらば今頃は優に大使たる可き也

▲其器 其明に於ては內田康哉林權助氏に劣らず或は優らむものを眞に惜むべき事也

▲稻垣 氏に若し外交官として缺點ありとすれば其面貌に瘢痕班々たるには非ざる乎

▲若し 夫れ稻垣氏をして政黨界にあらしめば今頃は總務位にて大臣の候補者たらん

▲長谷 場純孝氏大岡育造氏等さへ大臣候補者に數へられし事ある世の中なればなり

▲立身 出世は決して其人格を判定するに足らずとは強ち不平家連の說のみにあらじ

▲浮世 は兎角上手に渡るこそ立身の秘訣

奇縁（五）

ひで子

十二畳の座敷へ金太の姉は、衡を懸掛けて「夫れから兄さん、其兄さんに意見した、觀音様の様な別嬪は、○○局長の奥様よ、此間、その十日程前の晩、二人のお客が、飲みに來て、一人の菊地と云ふ方の話で、小石川白山の、酒屋の娘で、美枝子とか、謂ふ女と、違はない様だと思ふは……。」「○○局長が奥様か、違へないかしら」「駄目々々、其奥様は其晩に、菊地と云ふ男の鯔を責つて、……」

たが其菊地さんのお友達、阪田と云ふ人に頼んで見やふ、居所が判かるも知れない……」

「頼ひ聞いて呉れ、確に白山前の酒屋の娘だと頼んだ」明朝早く、阪田の家へ尋ねて行つて呉れ、何家を知らない、弱つたな、「何れ宿舎だ、行つて呉れ、よ頼む」「然うして仲居が來やがらねえ、そうだ來るなど止めて置いたつけ……」手を叩いて、勘定をして、戸外へ出ると、雪が降つてる。

阪田夫婦は此日の朝、南大門を發つたのだ、丁度今頃は、連絡船で、菊地と美枝子の身の上を、想像し合つて居るであらう（完）

●江華島の暴徒

……益々激甚を極む……

……曹長及兵士を傷く……

江華島の暴徒益々横行するを以て討伐軍隊及び警察隊同地に向ひ之れが掃討に務めつゝある時去る二十六日午前十一時龍山第十三聯隊大隊の山本曹長の一隊と同行巡査二名は江華島上道面に於て約二十四名の暴徒と衝突し激戰約六時間に亘りたるが我軍は少數なるのみか甚だ不利の地點にありたる爲め其の苦戰云はん方なく遂に不幸にも山本曹長は戰死を遂げ兵四人の中二人は負傷し韓巡査一名も亦負傷するに至りしかば此處に已むなく退却したりしが折しも漸やく夜に入りて四邊は全く暗黒となりし爲め敵の損害は詳らかならざりしと而して此報に接したる山本曹長の部下は直に遭難の地點前記上道面に至り勝ち誇りて鯨波を擧げつゝありし賊軍を襲ひ其の潛伏せる民家に火を放ち炎々たる火光を便りに交戰したるが賊は前回の經驗を省めたるを以て頗る強硬にして却々に退却せず苦戰を重ねたる結果漸やく賊四名を斃し數多の負傷者を出したるが夜間の事とて其の敵料然せず我には損害なかりしと云ふ而して前記死傷者は同日直に仁川に送り山本曹長の死體は火葬に付し巡査の負傷者は仁川病院に收容し目下療養中なりと云ふ

●ダイナマイト爆發す

……即死者三名……

……負傷者一名……

原縣大分縣速見郡御越町字鉄川當時開城開城郡中西面波洞久米郡トンネル工事場の土工宮内薛（三二）といふは去る二十二日午後八時半頃軍で工事用に使ふダイナマイト二個を傍にして寢に就きしが軈て十二時頃に至り件のダイナマイトは体温によりて暖まりしため轟然たる一聲の響と共に爆裂し四邊の夢を驚かしたれば何かは以て堪るべき宮内は其の場に即死しつゞいて枕を並べて寢ね居りし同業者山口縣芳野郡大内村田中林一（三三）宮崎縣東臼杵郡種富村兒玉英作（二二）の二名も惨酷なる最後を遂げ他の一名も頭部足部に負傷し全快迄には三週間を要すべしと

●土砂崩壞す

……韓人夫の即死……

仁川受表面松峴洞居住金在毛（一九）といふは同地水道配水地の地堀り人夫に雇はれ日々仕事に從事し昨日もいつもの如く十人許りの仲間のものと共に就職し居りしが午後四時頃に至り金は一部の仕事を了ひ他の個所を發掘し居りしに折柄頭上なる約一坪許りの土砂崩壞し金の全身を倒したるが何かは以て堪るべき金は頭部を強かに打たれ其場に即死したりといふ

●姦夫竊盗を働く

……恩人の妻と不義を重ぬ……

長崎縣生れ現住所不定伊藤龍三（二七）といふ前科四犯の男は國許に居る時分常々より懇誼に預り居れる村田といふものゝ妻女に思を掛け不義の樂に耽りつゝありしが此のこといつしか村田の耳に入り軈て警察沙汰ともならんとする模様なるより姦夫姦婦は蠢度胸を据へ斯うなつたら百年目跡は野となれ山となれと許りに駈け落ちと洒落込み九月中旬頃朝鮮に渡り最初釜山に尻を据へ毎日爲すこともなく日を送り居りしが元々多くもあらぬ路金の何時迄もつゞかう筈はなく僅か十日許りの間に使ひはたし宿料にも困迫せしより男女の兩人は已むなく着替への衣類を賣り飛ばして宿錢を支拂ひ京城に來り南山町の料理屋松木亭に住み込み立ち働き居る中同亭の主人といふが其の女に思を掛け果ては龍三の前をも憚らず首尾をも重ね居りしが龍三は之を嗅ぎ知りて逆恨骨髓に徹しイツソのこと主人をばバラして呉れんと思ひしも雇人の身の悲しさにはソウも出でたるはよきもすテ龍三は差し當り此れ丈け出し八圓の手切金を貰ひて穏かに同亭を立ち出し八圓の手切金を貰ひて穏かに同亭をと決心つき兼ね女に迫つて縁切れ話しを持出でたるはよきもすテ龍三は差し當り此れといつて職業も見當らず閑居して不善を爲すは小人の習ひ去月以來南大門外又は太平町の良家に忍び入り彼れ此れ一千圓餘の物品を竊取し密さ其家を拔け出で竊取した品を情婦なる長谷川町たよく亭の曾川とやら屋といふ飲食店に押し上り何物をか隙を見て盗まんものをと様子を窺ひ居りしが中々容易に盗まれそうにもない所から一策を案じ「腹が痛い」と言つて押込に寢込み女帯一筋を竊取し密さ其家を拔け出で竊取した

●馬鹿々々しい一策

南大門外……

畤松方奈良縣平民大西文七（三七）は去る廿六日の夜竊盗の下心ありて本町六丁目の松の

盗を働き新町に浮かれ居る所を此の程西部署の手にて取り押へられたり

て渡しても氣前の宜さそうな顔付をして居る所を南部署の巡査に取り押へられたり

●妾の逃亡

永樂町二丁目黒石木村店の主人の愛妾れハルといふがあり生れは長崎にて今年二十一の水の出鼻つらつら感ずる所ありて朝鮮へ渡りしは今より二年以前京城仁川は言ふに及ばず鎭南浦から安東縣平壤から新義州といふ工合に流れ流れた揚句の果前記の黒石といふ男に關係を附け正に歴然たる韓妻とはなりたるが元來水性なるれハルは一人の旦那許り守つて居られず本町筋のある商店の番頭と仇な契りを結び旦那の眼を忍んでは不義の樂に耽り絞つた金はドシドシ其の番頭に注ぎ込み追つては何處かへ駈け落ちして共に暮らさうと見たいと内相談が出來たか何うかは知らねどもれハルは四五日以前旦那に向つて一寸國居へ行つて參りますからと出て行つたまゝ歸り來らず何の便りさへなきより旦那は不審に思ひもしも國許へでも歸りはせずやと電報を以てハルの親爺に照會せしに早速親爺よりの返電として娘は歸らずとのことに旦那は大に落膽し昨今にては碌々商賣にも身を入れず日々鬱ぎ込み居るとは何ともはやチユーバリーの譯なり

●店員評判記

釘本商店員　阿津坂義太郎氏

原籍は福岡縣三猪郡大川町、本年二十八才三十八年八月渡韓し、直ちに入つて釘本商店の店員となつたのである、幼より才智に富み、算筆に長じ、加へて人に接して愛嬌タツプリである、蓋し商賣人としての資格が生れながら備はつて居るといつてもよい現今の地位は……着実勤勉…………坐右の銘とし、動々としてよく勤め、切々としてよく貯へて居る、主人の信用極めて厚く同僚の氣受もよい、唯商賣柄丈ありて人間が少し堅過ぎるといふ評判がある併し柔かいのよりは遙かにマシだ

同店員　邊雲祥氏

朝鮮人としては珍らしい人物である、第一職務に忠實なのが其の特長で、既に釘本商店に身を委ねてから拾三年になるが、其間一日と雖も怠つたことがない、性質は温和にして寡言、如何なる苦痛と不平さが胸にあつても容易に面に表はさず、いつも愉快さうに職務に從事して居る蓋し釘本商店が今日の繁榮を致したのも、氏の力與つて大に居るといつても過言でない、而して氏は同店が店員に對する奬勵法として十ケ年間勤續したものには、一千圓を支給すると云ふ規則から去る三十八年首尾よく此の名譽ある金額を受領したことは既に當時の新聞に載つて居る、主人の信用極めて厚く現今にては同店の元老として一方の牛耳を握つて居る、京城の産今年三十四歳甘本語は達者なものだ

辻屋商店　溝田竹次氏

氏は文明流の商人である、組織立つた教育を受けた丈に、學識は可なりに備はつて居る、殊に英語は其の得意とする所で、會話はナカナカ達者なものだ、而已ならず謠語にも通じ、發音、アクセントの工合などは何うして本式である、生れは福岡縣久留米市三本松町、夙に商業に關する學問を修め渡韓したのが昨年の夏、現今にては販賣主任の重任を帶びて居る客に接して丁寧主人に事へて忠實、從つて一般の評判が宜い生年二十八歳、品行は方正である

●亂暴なる雇主

仁川新町二丁目蒲鉾商樋口宇三郎と云ふは一昨日何處にてか一杯聞し召しホロ醉機嫌にて歸宅したる折柄同宅の雇韓人が日給を呉れと請求したるに腹立て一言二言叱り飛ばしたる上無法にも鐵拳を加ねて銅錢一文もやらず表の街路に突き出したるより韓人は取りつく島なく泣く泣く斯の始末を警察に訴へ出でたれば警官は即時出張守三郎を引致の上篤と説諭を加へたりと

●果して違ひなし

旭町四丁目野田齒科醫院方赤石鶴雄（二七）は一昨日午後三時頃本町郵便局前にて一圓紙幣を紛失せしが折柄傍らに韓人居りしかば必定其の韓人が拾つたものと確信しヨボ同伴南部警察署へ取調方を煩はしたるが果してヨボの拾つた事明りたり此の者は西署孔德坊朴松成（三五）といふものなり

●ボヤ

廿八日午後四時四十分頃西部阿峴車子里百十八統金錫元（二八）方にて温突の焚火より出火したるも直ちに消し止めたり

●行き倒れ

昨日午後五時頃度支部裏手の空地に五十位の韓人死倒れ居るより西部警察署にては直ちに檢視を行ひたるが別に死因とて著るしきものなく乞食の事故多分飢死せしものならんと死体は取扱人會硝國に引渡したり

●醉狂

蓬萊町鐵道官舍印刷局職工中川菊松（三五）といふは性來の酒好きなるが一昨日午後六時半頃西部栗岩九十八統戸李様春方に酒に醉ふて暴れ込み大に狼藉を極め家財に損害を加へたる結果一圓の賠償で事濟みたり

●淫を賣る

長谷川町二丁目飮食店井上伊豫松方の酌婦長崎縣平民原川カヨ（一八）は二十六日の夜林友三郎なるものに五十錢……られたり

●國民百科辭典

東京冨山房より發行する「國民百科辭典」は國民の知らざるべからざる万般の事柄を網羅し一々明確詳密なる解説を下せるものなれば其の有益にして日常欠くべからざるは言ふ迄もなし編纂の士は何れも當代の各專門家編纂主任は文學博士芳賀矢一氏文學士長谷川福平氏の二氏なり定價は一部二圓八十錢希望の者は今の中に注文さるゝがよかるべし

●天氣豫報（自三十日午後六時至一日午後六時）

北又は西の風晴風強かるべし

三十日午前六時各地氣象概況高氣壓は滿州方面に上昇し一般に北又西の風吹き晴天なり

燃料用 **無煙煉炭**
●特色 火付著し、火力耐久、價格低廉
●用途 溫突、暖爐、竈用に適す
●周防徳山海軍煉炭所東隣
谷口無煙煉炭工場
京城特約店 京城南大門通 電話六〇三番 **巴商會**
韓國一手販賣 京城太平町二丁目 **神田組**

▲無料紹介欄▼

人事部

●呉服商に多年經驗あるもの雇はれたし 年十九 氏名在社（一〇五）

●官衙の給仕に雇はれたし年十八 氏名在社（一〇六）

●被雇度 豫備役海軍一等機關兵年廿六滿機械の運轉取扱へ雇はれたし普通學有韓語に通ず給料多きを不望 氏名在社（一〇七）

鹿兒島縣人有馬氏の住所を問ふ 同縣人（一〇八）

店員入用 雜貨商に經驗ある者數名雇入れたし 壽町三丁目今關商店（一一〇）

●雇われたし 年三十九中等教育有節操健術 民會社の受附又は商店の帳場員を望む 氏名在社（一一二）

●雇はれたし 年廿六身体強健職業を撰はず 何なりとも雇はれたし 氏名在社（一一三）

（一〇九）

●看護婦至急入用 明治町一丁目松岡醫院（一一八）

●女子見習生要集 委細面談 本町六丁目中村齒科醫院

●韓語速成教授 本町六丁目六五韓語速成講習所

崎村君 申上候 より御懇切なる御言葉厚く御禮 石村生（一一五）

下女入用 望の者は本人來談あれ 氏名在社（一一六）

女中入用 親切の心得ある人を求む 旭町一丁目競賣所（一二〇）

英韓語無料教授 自午後六時至九時 永樂町三丁目二十一番戸ノ四 上田生（一二三）

●雇はれたし 年廿六西洋料理に熟練旅館料理店又は素人家にてもよし給料不望確實の保證人あり 氏名在社（一二四）

二十歳迄の店員五名身元保證人ある者雇入たし 姓名在社（一二三）

物件部

賣地 本町八丁目通り地所四十坪温突十間建家の儘格安にて至急賣却 姓名在社（九九）

賣地 京仁鐵道永登浦停車場近所在上水田四町歩格安價にて賣却す希望者は至急申込あれ 旭町二丁目京城興信所（一一〇）

便利の場所にして電話の備もあり官吏向き八疊四疊五つ間二階貸間あり 電話六六五九番に御照會あれ（一一〇）

付貸間 賄あり 氏名在社（一一七）

古着 其他御不用品買受けたし 旭町一丁目競賣所（一一九）

貸間 旭町一丁目便利の場所にて六疊二間二階貸しいたし度 望の方は御來談被下度候 旭町一の六十 京仁商會（一一一）

廣告

和洋 **暖爐販賣**
並に附屬品一式
煙突取付請負
京城本町五丁目一番戸 **馬木勇吉** 電話四七一番

染物京阪西洗濯張物京都悉皆場

入院 京城壽町三丁目 元阪井病院跡
院長 陸軍三等軍醫正 高井貞治
高井醫院 （電話二二六番）

博士 ホリック著 東京神田區小川町 **盛文館發行**
學 譯者 工學士夢樹
色情衛生 男女の秘密
生殖器を解剖し生殖器病治療法及避姙原理 **姙娠結婚** 前後の心得生殖器各部の説明 女にすかる法
●裝幀美にして本書に附するに洋装美本四號菊判
●今回秘密代金五十四錢送金者
●千人限無代進呈と書入枕草紙に上 **無代進呈**
●本書は醫學實驗 生殖器の神秘を大膽に忌憚なく説明し又男女裸體骨格説明寫眞版の秘密を暴露し優良健全なる子孫を得せしむ

石炭各種
無煙煉炭
南大門通り
巴商會
電話三〇六番

京城電話開通 六七四番

右電話開通仕り候間精々御用命御引立の程願上候
小宮山運送龍山支店

免許通關貨物取扱人
承認鐵道貨物取扱員
仁川驛前
小宮山海陸運送店
電話七一六番

室内裝飾業 家具製造販賣 毛織物其他直輸入 電氣用器具並電鈴取付
歐風
京城本町三丁目
電話四百三十番
振替口座 七九八九番
森安商店

外國直輸入品
リノリーム
ジウタン
新荷着
京城支那領事館通
清韓洋行
電話四九四番

●**土耳古煙草直輸入大販賣**●
本社ハトルコ最大貴製造會社ニシテ其製品ハ原料精選其風味ハ良好無比ナレバ夙ニ世界各國ニ最多ノ輸出ヲナシ好評ヲ以テ迎ヘラツ、アリ御小賣トモ廉價ニ販賣仕候
京城本町四丁目角 **デーエス、パ子リス會社出張所**
仁川港本町通 仁川代理店 **頴原兄弟商會**

▲**轉宅荷物運搬**
京龍間建築土木材料其他諸貨物の運搬及び人夫請負
弊店儀今般右の營業を開始仕候に付ては貨物の多少又は土地の遠近に拘はらず御報知次第直ちに店員を派出して御用命に應じ可申尚は弊店は責任を重んじ万一御委托物に對し店員の不注意より損害を加へ候節は弊店に於て其**賠償の責に任じ**決して御損失は相掛申間敷候間續々御用被仰付度此段謹告候也
京城南大門通り二丁目二十番戸三浦商店向側
店主 有田豐太郎
有田運送店

▲京城産婆案内▼

内務省免許産婆 永樂町一丁目 **伊集院** 電話三五八

内務省免許産婆 姙婦、產婦ニ限リマッサージノ依頼ニ應ズ 京城旭町一丁目（民團役所横向歌舞伎座筋向） **岩永重乃** 電話六五九番取次

壽町三丁目 [illegible]

内務省免許産婆 京城南山町三丁目 **堀越直子**

大東看護婦 助產婦 京城永樂町二丁目 **大島壽美** **岡上君代**

内務省免許産婆 壽町三丁目 **脇川きく**

明治二十五年内務省免許産婆 本町六丁目 **田淵左姫**

内務省免許産婆 南山町三丁目 **杉原ハナ**

宮内府免許産婆 京城南山町二丁目 **原口都矢**

大東看護婦 明治町二丁目 **岡宮良子**

純良無臭 **精酒アルコール**
直輸入元 仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電略サ） **坂倉支店**

新調及表装 [illegible] 竹中為太郎 電話六七〇番

GDS
土耳古煙草直輸入御小賣

インペリアル **最も高尚ナル飲料ニシテ來客用ニ適セリ**
ジーデーシエリス會社
明治町壹丁目
出張所 エムジーシエリス

梅毒、痳病、横痃、痔生殖器、皮膚病専門
京城皮膚病梅毒院
南大門韓人朝市場裏第壹銀行舍宅横通 米倉町度支部官舍下角

特約販賣自製
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
大上商店
（電話二五一番）
和洋酒、◯精酢、穀物麪類銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候

壽司御料理 すき燒
蒸すし賣出し
明治町一丁目
松善
從前の通り大勉強仕候間賑々敷御來光被成下度候

諸印刷 名刺 ハガキ
勉強の黒ふ書く
京城南大門通り **仁川活版支店**

洋服裁縫
京城長谷川町一丁目
小松屋

直輸入外國貴御披露
一トルコ紙卷 一エジプト紙卷
一ハバナ葉卷 一マニラ葉卷
其他パイプ、ケース、等附屬品一切右新荷物到着に付此際特別廉價を以て大勉強販賣可致候間御試驗の上御用向の程願上候
京城本町二丁目
トルコ煙草日希商會
D. G. MENEASCO.

易斷觀相及教授
貴文館 **三一館**
近は來館遠は郵便にて

日韓皇帝

京城南大門 [illegible]

純良 **牛乳** 洋種
電話三五七一番
京城南大門外 [illegible]

統監府御用
諸官衙人力車
荷物荷造及運搬
營業 京城曙町（電話七三番）
本店 同本町三丁目（電話四〇番）
伊藤組

日本郵船會社 仁川 出帆廣告
仁川海岸通 貨物及船客取扱店 **郡回漕店** 電話三九番
城南大門通 **巴商店** 電話三〇六番

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 十二月二十日後三時出
●大連行 商砂丸 十二月八日後一時出
●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 十二月八日前五時出
●大連行 酒田丸 十二月廿二日後一時出
●釜山出帆、浦鹽行 立神丸 十二月二日
御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢 ▲一ヶ月前金貳圓 ▲六ヶ月前金 [illegible] ▲郵税一ヶ月金 [illegible]
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行金 [illegible] ▲貮號活字十九字詰一行金五十錢 [illegible]
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 鈴木久馬太
發行所 京城 [illegible]